

<定点把握感染症 週報 年齢別報告数>

インフルエンザ/COVID-19定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	1	7	17	17	33	42	83	127	115	131	169	480	64	11	1356
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
	25	20	6	4	3	1									
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	452
	5	11	29	29	25	21	26	30	15	13	9	46	19	25	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
	29	24	32	30	22	12									
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1		1		1	1		1							5
咽頭結膜熱		3	6	10	8	10	8	7	7	5	1	1		1	67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	9	19	33	27	43	36	30	17	17	29	2	2	266
感染性胃腸炎		9	19	11	11	13	13	8	8	11	9	12	2	1	127
水痘					2		2	1		1	1				7
手足口病								1							1
伝染性紅斑															0
突発性発しん			3												3
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎					1										1

<定点把握感染症 令和 6年 2月 月報>

2024年3月13日 発行

疾 病 名		山 形 県		山 形 市 保 健 所		村 保 健 所		最 保 健 所		置 賜 保 健 所		庄 内 保 健 所		累積 (県)
		1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	
STD定点 (定点医療機関数)		(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	15	11	3	4	4	2	2		4	5	2		26
	定点当たり報告数	1.50	1.10	1.50	2.00	2.00	1.00	2.00		2.00	2.50	0.67		
性器ヘルペスウイルス 感染症	報告数	8	11	2	2	1	3	1	1	2	1	2	4	19
	定点当たり報告数	0.80	1.10	1.00	1.00	0.50	1.50	1.00	1.00	1.00	0.50	0.67	1.33	
尖圭コンジローマ	報告数	2	3		2	1		1			1			5
	定点当たり報告数	0.20	0.30		1.00	0.50		1.00			0.50			
淋菌感染症	報告数	1	2				2			1				3
	定点当たり報告数	0.10	0.20				1.00			0.50				
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌 感染症	報告数	6	8		1			1	4			5	3	14
	定点当たり報告数	0.60	0.80		0.50			1.00	4.00			1.67	1.00	
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	10	9	4	2	2	1	1	3			3	3	19
	定点当たり報告数	1.00	0.90	2.00	1.00	1.00	0.50	1.00	3.00			1.00	1.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	1		1										1
	定点当たり報告数	0.10		0.50										

<トピックス>

『新型コロナウイルス感染症』『インフルエンザ』
『咽頭結膜熱』『A群溶血性レンサ球菌咽頭炎』に
気をつけましょう！

第11週におけるインフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の山形県定点当たり報告数は、警報レベルが続いています。

引き続き、基本的な感染対策である「手洗い」、「手指消毒」、「場面や状況に応じた適切なマスクの着用」、「換気」による予防を心がけましょう。

インフルエンザ (警報レベル)

山形県定点当たり報告数は31.53で、4週連続増加しています。

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数

A型:69件、B型:1283件、A・B型同時:1件、型別不明:3件

(定点医療機関からの報告)

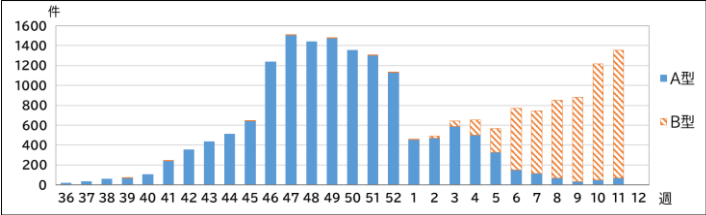


図 迅速診断キットによるインフルエンザ陽性件数(型別)の推移 -2023/2024シーズン-

2 インフルエンザウイルス検出状況 (衛生研究所 令和6年3月12日現在)

今シーズン(2023年36週～)の患者から、AH1pdm09が124件、AH3が190件、B型(ビクトリア系統)が37件検出されています。

◎ 集団発生状況は山形県のホームページをご確認ください→



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (警報レベル)

山形県定点当たり報告数は9.50でした。保健所別では置賜保健所、山形市保健所からの報告が多くなっています。

【症状、治療】

2～5日程度の潜伏期の後、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、嘔吐や莓状の舌などの症状が現れます。通常熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。

抗菌薬による治療を行います。喉の痛みがひどい場合にはやわらかく薄味の食事にし、水分補給を心がけましょう。